

水稲用除草剤適正使用について

(財) 日本植物調節剤研究協会

当協会では、水稲用除草剤の効果の安定と水田外への流出防止のため、散布前後の水管理の徹底を啓発する事業を行っています。その一環として、とくに散布後7日間落水、かけ流しをしないよう注意を促すキャンペーン広告を、会員会社の協力を得て、4月から6月にかけて日本農業新聞上に掲載し、その記事を植調協会ホームページでも紹介しています。

一般に、水稲用除草剤は、散布後有効成分が水中に溶け出し、水田水を介して水田土壌の表層に拡がって除草効果を発揮するため、散布後に止水し、水を水田の外に流さないことは、除

草効果を安定させるとともに水田外への成分の流出を防ぐことになります。

この除草剤適正使用キャンペーンは、畦畔の整備とともに散布後7日間、水を水田の外に出さないよう周知徹底を図るものです。

なお、全7段広告記事では、一昨年、昨年に引き続き、かけ流しをさせないための水管理法として、当協会が提案している水稲用除草剤散布後7日間は給水も止める止水管理を紹介しています。

以下に新聞広告を掲載致します。

平成23年度 水稲用除草剤適正使用キャンペーン

散布後7日間は、落水、かけ流しをしない。

畦畔の整備は万全ですか。

田面水が流出していませんか。

灌水状態で散布された水稲用除草剤の有効成分は、一般的に一旦水中に溶け出した後、徐々に水田土壌の表層に吸着されて除草効果を発揮します。安定した除草効果を得るためには、この土壌表層の処理層を破壊しない水管理が大切であり、特に散布後7日間の水管理が重要です。田植え前の散布でも散布後7日間は注意が必要です。あらかじめ畦畔のひびや崩れ、モグラ、ザリガニ、ケラなどの小動物による穴を補修するなど、散布前にも確認が必要です。このキャンペーンは、除草効果の安定と水田外への薬剤流出防止のため、水稲用除草剤散布前後の水管理の周知徹底を図るものです。

財団法人日本植物調節剤研究協会では、かけ流しをなくすため、水稲用除草剤散布後7日間給水しない止水管理を提案しています。詳細は当協会のホームページをご参照下さい。

水管理をしつかりと！



アピロキリアムMX
アピロトップMX
(シシジブシロキリアム株式会社)

イーウェン
14日経時 フロアフル シャンボ
(北興化学工業株式会社)

イスキング
14日経時 シシジブシロキリアム
(北興化学工業株式会社)

イーウェン
14日経時 シシジブシロキリアム
(北興化学工業株式会社)

クサトリ-DX
14日経時 シシジブシロキリアム
(北興化学工業株式会社)

シノノグ
14日経時 シシジブシロキリアム
(北興化学工業株式会社)

サラフレッドRX
フロアフル
(サハラフレッド工業株式会社)

ボデーガード
14日経時 フロアフル シャンボ
(北興化学工業株式会社)

ボッシブル
14日経時 フロアフル シャンボ
(北興化学工業株式会社)

マイウェイ
14日経時 シシジブシロキリアム
(北興化学工業株式会社)

半蔵
14日経時 シシジブシロキリアム
(北興化学工業株式会社)

財団法人 日本植物調節剤研究協会
<http://www.japrr.or.jp/>

石原産業株式会社
株式会社エス・エー・エス バイオテック
協友アグリ株式会社
クミアイ化学工業株式会社
シンケンテクノリサーチ株式会社
住友化学株式会社
テュボン株式会社
日産化学工業株式会社
日本農薬株式会社
バリエル クラフサイエンス株式会社
BASFジャパン株式会社
北興化学工業株式会社
三井化学アグロ株式会社

平成23年度 キャンペーン 協賛会社

新聞広告（全5段）

平成23年度 水稲用除草剤適正使用キャンペーン

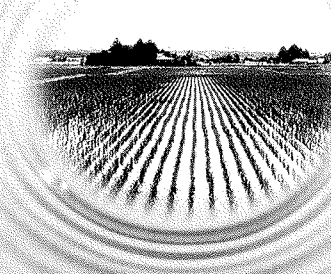
確認しよう。

畦畔の整備は万全ですか？
田面水が漏れないよう畦畔は予め補修しましょう。散布前にも確認しましょう。

田面水が流出していませんか？
田面水が露出しないよう水を張り、水口・水尻を止めて散布しましょう。散布後7日間は落水・かけ流しをしないでください。

ラベルをよく読みましょう！
必ずラベルをよく読み、使用量・使用時期・使用回数を守りましょう。記載以外には絶対に使用しないでください。

不適切な水管理は除草効果を低下させるだけでなく、田面露出への原因にもなります。



水管理を
しっかりと！

このキャンペーンは、除草効果の安定と水田外への薬剤流出防止のため、水稲用除草剤散布前後の水管理の周知徹底を図るものです。

財団法人日本植物農動研究協会 企画・編集・発行
平成23年度 水稲用除草剤適正使用キャンペーン 実行委員会

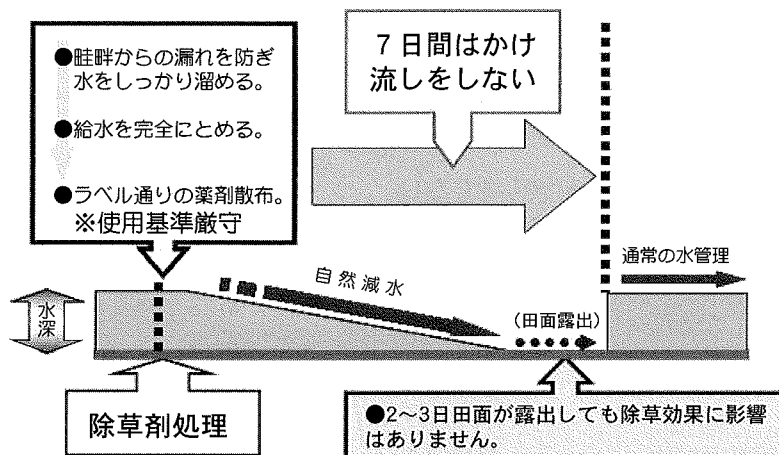
散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。

財団法人日本植物農動研究協会では、かけ流しをなくすため、水稲用除草剤散布後7日間は給水しない水管理を提案しています。詳細は当協会のホームページをご参照下さい。

植調協会の提案する除草剤処理後7日間給水しない止水管理

- 除草剤を処理した後7日間は水田水が水田外に出ないように排水口を止め、さらにその期間は給水も止める方法です。

「除草剤処理後7日間給水しない止水管理」の模式図



- 7日間給水しないで済むように田面水を維持するためには
- ① 畦畔を水漏れがないように整備する。
 - ② 田面の露出がないよう水を溜める。
 - ③ 排水口を水漏れしないようにふさぎ、給水を止める。

☆注意

- 以下の場合には適宜給水して湛水維持に努めるがオーバーフローに注意する。
- ① 低温対策等、栽培上湛水が必要な場合
 - ② 散布翌日に田面が露出するような漏水田
- 田面が露出後ヒビ割れるような場合は給水する（オーバーフローに注意）。